

令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	今年の雪 速報会 2024-25	事業経緯	継 続	実施体制	共 催	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

本事業は、行政機関や学術・民間の有識者による講演等を通じ、北陸地域における直近の冬季における降雪・積雪、雪災害の状況とその対策について認識を深めるとともに、社会資本整備の今後の方向性やあり方等について考える機会を提供する。

2. 事業実施体制

共 催：NPO法人水環境技術研究会、(公社)日本雪氷学会北信越支部、
(国研)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター、
(一社)北陸地域づくり協会、日本雪工学会上信越支部

3. 事業概要

日 時：令和7年6月9日(月) 13:30～17:00
場 所：まちなかキャンパス長岡(オンライン併用)
プログラム：
第一部 ～今年の雪の気象学的特徴について～
① 北陸地方を中心とした2024/25冬の天候と降雪の特徴
中村 誠(新潟地方気象台)
② 2024/25に大雪をもたらした大気循環場の特徴
本田 明治(新潟大学)
第二部 ～今年の雪への対応について～
③ 長岡国道事務所における今冬の取り組み(誌面報告)
林 正樹(国土交通省長岡国道事務所)
④ 新潟県における今冬の冬期道路交通確保の対応
小幡 晋(新潟県土木部道路管理課)
⑤ IoTを活用した屋根雪荷重推定による雪下ろし時期の最適化
涌井 将貴(新潟工科大学)
⑥ 青森県における今冬の大雪の状況
中村 一樹(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
⑦ 新潟・福島県境で多発した雪崩の状況
上石 勲(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
第三部 総合討論
進行：太田あみ(長野地方気象台)
参加者：364名(集会100、オンライン264)

4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

本事業は平成17年から毎年開催(R2はコロナ禍で中止)しており、今回で20回目。豪雪地という地域特性に適ったセミナーで、技術的・理学的に多彩な分野から話題提供がなされることで関心を集め、熱心な聴講者を得ている。

今回は、今冬の天候・降雪における気象学的特徴についての解説に加え、県道における今冬の道路交通確保の取り組み、IoTを活用した屋根雪荷重の推定にかかる研究成果の発表、さらには青森県内の大雪の状況、新潟・福島県境で多発した雪崩などについて講演いただき、今後の取り組みや課題について議論した。

雪対策を担当する技術者の資質向上に寄与するとともに、安全・安心な地域づくりにつながっている。

